

の魁隊（さきだい）をまが大勢（おおぜい）からて堅固（かんぐ）をつた。僅（すこ）一干小足らざる勢
う。擣（うづく）くや隊伍（たいふ）傍（そば）く地（ち）からて嚴重（げんじゆう）なにこそ奇計（きけい）あんみ。
別て此方（このへ）の隊將（たいしよ）。織田家（おだけ）小於（ちあ）。他の恐（おそ）そ精冠者（ききゆくわざ）
漢使（かんし）予房（よぼう）。蜀の孔明（こうめい）。そき小も劣らぬ體（たい）故兒（むすめの）なまぞ。とく
實若（じつじやく）と云（い）さざんば。小稽（こざき）が計策（けいさく）小福（ちふく）らん。うちならぞ廉忽（りんごく）小慕（そらう）
り。さしゆ。得（え）の職野員正（しょくのいんじょう）も。自己（じみ）が思慮（しりょ）小迷（ま）とされ。猶豫（ゆうよ）を
うと進（すす）と進（すす）と得（え）を。本下（ほんげ）己（おの）を見（み）るよりも。主智要化（しゅちようか）小妙（めう）を
得（え）く。察悟（さかんご）うちひれどり。象將（じやうしよ）をまが。職野（しょくの）が進（すす）むぬ心（こころ）を察（さかん）。
儲（さか）へ已（そなへ）陣（じん）の文系（ぶんけい）をくもと。却（さく）く怖（おそ）くりはなづかべ。然（やがて）ば破（やぶ）
て見（み）もづれどくて。隊伍（たいふ）そらむぬ兵士（へいし）小指揮（さしふひ）を。故意火急（じごひき）
小推數（おうりき）せむ。勇（いさ）ふりよく。怪（あや）しきなづらも。要事時（わいじ）へ遅（おそ）て戰（たたか）ふも。

軍主を將候意小あり。宜むる機野が名士候。方儀
すで勇氣凜々しも大將圓正今全く。敵の隊伍小心
遂々。猶豫なくまふ應へ。己身小從ふ諸士輩都く。
漸く糧廩と劫られ。勤怖逐々見へる小そ。木下秀吉時分
もよ。と晴号の鳥铳放つやつめ。たの方より蟬次賀小
六。同又十郎。稻田大助助。中村孫平次左の方より木下小市角。
加藤虎之助。福鴻市松。行相助化。猪鹿茂助。つどりふ
英傑。多銃の兵八百余人を正魁小立て發起。八百余挺
の筒先立ち。放薦ると一時小喊とつづいて駆向へ。機野小從ふ
五千余人多銃のため小隊伍を破られ。さながら蜂の房と謂き
きて群り繙ぐ小警聾く。木下本邦二千余人蜂次於場